

耳鼻咽喉科・頭頸部外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学総合医療センター 研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 好酸球性副鼻腔炎における黄色ブドウ球菌エンテロトキシンの感作に関する検討

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 任期付助教 東山由佳

《研究の目的》好酸球性副鼻腔炎は難治性・易再発性の成人発症型の慢性副鼻腔炎で厚生労働省の定める指定難病に制定されている疾患です。その病態は複雑であり未解明な点も多いですが、近年外的病原因子として黄色ブドウ球菌エンテロトキシンの関与についての報告が増えてきています。しかし、実臨床における黄色ブドウ球菌エンテロトキシンの感作に関する報告は少なく、今回関西医科大学総合医療センター耳鼻咽喉科外来患者で好酸球性副鼻腔炎症例に対する黄色ブドウ球菌エンテロトキシンの感作例について陽性群と陰性群を検証し、その病態背景を明らかにします。

《研究期間》 研究許可日～2026年1月30日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

関西医科大学総合医療センター耳鼻咽喉科外来の好酸球性副鼻腔炎の患者さんで、2019年8月1日から2019年12月31日の間に黄色ブドウ球菌エンテロトキシン特異的IgE抗体検査、各種アレルギー検査を受けた方

●研究に用いる試料・情報の種類

情報：診断名、年齢、性別、身体所見、全身ステロイド投与量、生物学的製剤使用例、血液検査（白血球、好酸球数、総IgE値、血清SE-IgE抗体（SEAおよびSEB）、抗原特異的IgE抗体）

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での診療情報等の取扱い》

お預かりした診療情報等には匿名化処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 担当医師 任期付助教 東山由佳

出向先：社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会野江病院 耳鼻咽喉科 東山由佳
〒536-0001 大阪府大阪市城東区古市1丁目3-25
TEL：06-6932-0401 内線：691